

●臨時休業明けの年間指導計画参考資料

本資料は、「新編 新しい国語」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を、一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて、適宜ご活用いただければ幸いです。なお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。また、次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

〈1年〉

学校の授業以外の場において行うことが考えられる学習材・学習活動

4～5月 (12時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
	読む (詩(巻頭詩))	風の五線譜 巻頭 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(オ)〕 活C(2)ア	・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 詩の意味を捉えて丁寧に音読したり、群読に取り組んだりする。	□詩に込められた意味を捉え、丁寧に音読したり、役割を分担したうえで読み方を工夫して群読したりしている。〔2〕
1 言葉を楽しむ	読む (言語感覚)	話し方はどうか な P18 2時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(ア)〕 活C(2)ア	・話し方について知り、声に出して文章を読む。	0.6 (30分) 1.4 (70分)	1 タイトル下(P18)を見て、学習目標を確認する。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 気象情報(P21)を音読し、話す速さをつかみ、話の表情を豊かにする練習をする。	□話すときの適切な速度や話の表情について理解し、例文を適切に音読している。〔3〕
	言葉 (日本語探検)	音声の働きや仕組み P23 1時間	伝・国イ(ア)	・音声の働きや仕組みについて理解する。	1	1 学習材(P23)を読んで、音声の働きや仕組みについて理解する。適宜、漢字を確認する。 2 「問題」(P23)に取り組む。	□音声の働きや、音節、アクセント、イントネーションなどについて理解している。〔1～2〕
	読む (言語感覚)	詩の心——発見の喜び P24 2時間	指C(1)ア 指C(1)オ 〔伝・国イ(オ)〕 活C(2)ア	・言葉の意味を的確に捉え、詩を音読して読み味わう。 ・詩を鑑賞し、自分のものの見方を広げる。	0.4 (20分) 0.6 (30分) 1	1 タイトル下(P24)や「てびき」(P28)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「読み取る」設問①～②(P28)に取り組み、三編の詩について内容を捉え、音読して読み味わうとともに、文章の要点を理解する。 4 「考えを深める」設問③に取り組み、「チューリップ」(P17)について鑑賞したことを話し合う。	□三編の詩の内容を捉え、音読して読み味わうとともに、筆者の主張を理解している。〔3〕 □「チューリップ」などの詩に表されている発見や、表現の工夫について気づいたことを挙げている。〔4〕

					<p>*「チューリップ」のほか、巻頭の「扉の詩七編」から好きな詩を選んで鑑賞するのもよい。</p> <p>*「言葉の力 詩を鑑賞する」を読んで、詩を鑑賞するときのポイントを理解する。</p>	
<p>学びの扉 〈創造的な 言葉の力/ 表現する力〉</p>	<p>鮮やかに表現する</p> <p>P 29 1 時間</p>	<p>指 B(1)エ</p> <p>伝・国 イ(オ)</p>	<p>・具体的な描写を取り入れて文章を書き改める。</p> <p>・比喩や反復などの表現技法を理解する。</p>	<p>1</p>	<p>1 学習材 (P 29) を読んで、具体的な描写や、比喩などの表現技法を用いて、元の文章を詩の形に書き改めるとどうなるかを考える。</p> <p>2 基 P 245～「鮮やかに表現する」を読んで、描写や表現技法について理解を深める。また、「練習しよう」(P 247) に取り組む。</p>	<p><input type="checkbox"/>具体的な描写を取り入れて文章を書き改めている。〔1～2〕</p> <p><input type="checkbox"/>比喩や反復などの表現技法について理解している。〔1～2〕</p>
<p>書く 〈詩歌創作〉</p>	<p>小さな発見を詩にしよう</p> <p>P 30 3 時間</p>	<p>指 B(1)エ</p> <p>〔伝・国 イ(オ)〕</p>	<p>・言葉を選び、表現を工夫して、詩を仕上げる。</p>	<p>3</p>	<p>1 学習目標 (P 30) を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③ (P 30～31) に取り組み、四行くらいの詩を作って読み合う。</p> <p>*「言葉の力 表現を工夫する」(P 31) を読んで、表現の工夫についてのポイントを確認する。</p> <p>*前の「鮮やかに表現する」(P 29/基 P 245～) で学んだことを生かして取り組むとよい。</p>	<p><input type="checkbox"/>書いた下書きを読み返し、語句の使い方などを確かめ、表現を工夫して詩を仕上げています。〔2の②〕</p>
<p>言葉 〈文法の窓〉</p>	<p>文法とは・言葉の単位——切り方変われば意味変わる</p> <p>P 32 1 時間</p>	<p>伝・国 イ(エ)</p>	<p>・言葉の単位について理解する。</p>	<p>0.2 (10 分)</p> <p>0.8 (40 分)</p>	<p>1 学習材 (P 32) を読んで、文の区切り方を考える。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>*D この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p> <p>2 基 P 248～「文法とは・言葉の単位」を読んで、言葉の単位について理解を深める。また、「問題」1～2 (P 250) に取り組む。</p>	<p><input type="checkbox"/>文節や単語などの言葉の単位について理解している。〔1～2〕</p>
<p>言葉 〈漢字道場〉</p>	<p>活字と書き文字・画数・筆順</p> <p>P 33 1 時間</p>	<p>伝・国 ウ(ア)</p> <p>伝・国 ウ(イ)</p>	<p>・活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解する。</p>	<p>1</p>	<p>1 「活字と書き文字」(P 33) を読んで、活字と書き文字の違いについて理解し、「問題」①に取り組む。</p> <p>2 「画数」(P 34) を読んで、画数について理解し、「問題」②に取り組む。</p> <p>3 「筆順」(P 34) を読んで、筆順について理解し、「問題」③に取り組む。</p>	<p><input type="checkbox"/>さまざまな活字の特徴や、活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解している。〔1～3〕</p>

5～6月 (11時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応)
2 思いを捉える	読む 〈文学一〉	飛べ かもめ P36 3時間	指 C(1)ウ	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。 	1	1 タイトル下 (P36) や「てびき」 (P40) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。	<input type="checkbox"/> 人物の言動や場面の様子を描いた表現から、少年の思いを捉えている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 作品を読んで想像したことを生かして朗読している。〔4〕
			指 C(1)オ		1	3 「読み取る」設問①～③ (P40) に取り組み、場面の様子や登場人物の思いに注意して作品を読み味わう。 * 「言葉の力 表現を手がかりにして考える」を読んで、人物の心情や考えを捉えるための手がかりになる表現について理解する。	
			〔伝・国イ(ウ)〕 ④ C(2)ア		1	4 「考えを深める」設問④に取り組み、作品の一部を朗読する。	
	さんちき P41 4時間	指 C(1)ウ	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 作品から読み取ったことをもとに想像を膨らませ、自分のものの見方を広げる。 	1	1 「てびき」 (P52) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 * 「飛べ かもめ」と共通の学習目標であり、前の学びを生かしていくことを確認するとよい。	<input type="checkbox"/> 人物の言動や場面の様子を描いた表現から、三吉と親方の思いを捉えている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 作品を読んで想像したことを生かして朗読している。〔4〕	
		指 C(1)オ		2	2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 3 「読み取る」設問①～② (P52) に取り組み、場面の様子や登場人物の思いに注意して作品を読み味わう。 * 「言葉の力 表現を手がかりにして考える」 (P40) を参照し、ポイントを振り返るとよい。		
		〔伝・国イ(ウ)〕 ④ C(2)ア		0.7 (35分)	4 「考えを深める」設問③に取り組み、作品を朗読する。		
			0.3 (15分)	5 「広がる言葉／広がる漢字」 (P53) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 * 〔資〕P299～「言葉を広げよう——様子を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。			

					*この学習材に加えて、 資 P271～「そこに僕はいた」を読み、表現を手がかりにして考える学習を深めるのもよい。	
学びの扉 〈論理的な 言葉の力／ 議論する力〉	質問する P54 1時間	指 A(1)エ	・相手の考えをよりよく理解するために、的確な質問を考える。	1	1 学習材(P54)を読んで、分からないところをきく質問と、相手の考えをよりよく理解するための質問を考える。 2 基 P239～「質問する」を読んで、的確な質問のしかたについて理解を深める。また、「練習しよう」(P241)に取り組む。	<input type="checkbox"/> 分からないところをきく質問と、よりよく理解するための質問を的確に考えている。[1～2]
話す・聞く 〈聞く〉	会話が弾む質問をしよう P55 2時間	指 A(1)エ 〔 伝 ・ 国 イ(イ)〕 活 A(2)イ	・話の内容が深まったり広がったりするような、よりよい質問をする。	2	1 学習目標(P55)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～④(P55～57)に取り組み、よりよい質問を意識して会話をし、聞き取ったことをもとに相手のことを紹介する。 *「言葉の力 メモを取り、質問する」(P57)を読んで、話を聞いてメモを取ったり的確な質問をしたりするためのポイントを確かめる。 *前の「質問する」(P54/ 基 P239～)で学んだことを生かして取り組むとよい。 * 資 P267「メモの取り方の例」を読んで、メモを取る際の参考にするのもよい。	<input type="checkbox"/> 話の内容が深まったり広がったりするような、よりよい質問を意識して会話をしている。[2]
言葉 〈日本語探 検〉	つなぐ言葉・指し示す言葉 P58 1時間	伝 ・ 国 イ(エ)	・つなぐ言葉や指し示す言葉の働きについて理解する。	1	1 「つなぐ言葉」「接続表現の働き」(P58～59)を読んで、つなぐ言葉の働きについて理解し、「問題」①(P59)に取り組む。適宜、漢字を確認する。 2 「指し示す言葉」(P60)を読んで、指し示す言葉の働きについて理解し、「問題」②に取り組む。適宜、漢字を確認する。	<input type="checkbox"/> つなぐ言葉や指し示す言葉について理解している。[1～2]

6～7月 (16時間)							
	領域 (系統)	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (※は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (〔 〕は学習活動例との対応)
3 分かりやすく伝える	読む (構成・展開)	オオカミを見る P62 4時間	指C(1)イ 指C(1)エ 〔伝・国イ(エ)〕	・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ・筆者の文章の書き方について、自分の考えを持つ。	1 2 0.7 (35分) 0.3 (15分)	1 タイトル下(P62)や「てびき」(P68)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「読み取る」設問①～③(P68)に取り組み、文章の構成を捉え、内容を読み取る。 *「言葉の力 段落の役割や段落どうしの関係を捉える」を読んで、段落の役割や関係について理解する。 4 「考えを深める」設問④に取り組み、文章の書き方の工夫されているところを発表し合う。 5 「広がる言葉／広がる漢字」(P69)に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *〔資〕P300～「言葉を広げよう——印象を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。 *この学習材と併せて、〔資〕P278～「『常識』は変化する」を読み、文章の書き方や、筆者のものの見方を比べてみるのもよい。	□問いと答え、筆者の考えから成る文章の構成を捉え、内容を要約している。〔3〕 □文章の書き方の工夫されているところを挙げている。〔4〕
	学びの扉 (実用的な言葉の力／整理する力)	分類する P70 1時間	指B(1)イ	・情報を的確に分類する。	1	1 学習材(P70)を読んで、情報を分類する。 2 〔基〕P230～「分類する」を読んで、的確な分類のしかたについて理解を深める。また、「練習しよう」(P232)に取り組む。	□情報を的確に分類している。〔1～2〕
	書く (伝達)	構成を考えて書く——「私」の説明文 P71 6時間	指B(1)ア 指B(1)イ	・ふだんの生活や自分について振り返り、書くための材料を集め、伝える内容を考える。 ・材料を分類するなどして整理し、段落	3	1 学習目標(P71)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P72～75)に取り組み、自分のことをよく知ってもらうための材料を集め、整理したうえで、文章の構成を考える。 *「言葉の力 材料を集める／材料を整理し、文章を構成する」(P72、73)を読んで、材料の集め方、整理の仕方や文章構成についてのポイントを確かめる。	□書くための材料を多く挙げたうえで、自分について知ってもらうためにふさわしい内容を考えている。〔2の①～②〕 □材料を分類して見出しを付けるなどして整理し、分かりやすい段落構成を考えて説明文を書い

		〔伝・国イ(エ)〕	の役割を考えて、伝えたい内容にふさわしい文章構成で書く。		<p>*前の「分類する」(P70/〔基〕P230～)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>*〔資〕P292～「発想・整理の方法」を読んで、材料集めや整理のための参考にするのもよい。</p> <p>1 3 手順③(P76)に取り組み、「『私』の説明文」の下書きをする。</p> <p>2 4 手順④～⑤(P76～78)に取り組み、「『私』の説明文」を清書し、読み合って感想を交換する。</p> <p>*〔資〕P294「原稿用紙の使い方・推敲の観点」を読んで、推敲や清書の参考にするのもよい。</p> <p>5 「学習を振り返ろう」(P76)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p>	ている。〔2の②、3、4の④〕
言葉 〈文法の窓〉	文の成分・連文節——文節をつなぐ見えない糸 P79 2時間	〔伝・国イ(エ)〕	・文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解する。	<p>0.3 (15分)</p> <p>1 学習材(P79)を読んで、文節どうしの関係を考える。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>*〔D〕この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p> <p>1.7 (85分)</p> <p>2 〔基〕P251～「文の成分・連文節」を読んで、文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解を深める。また、「問題」1～2(P255)に取り組む。</p>	□五種類の文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解している。〔1～2〕	
言葉 〈漢字道場〉	音読み・訓読み P80 1時間	〔伝・国ウ(ア)〕 〔伝・国ウ(イ)〕	・漢字の音読みと訓読みについて理解する。	<p>0.6 (30分)</p> <p>1 「漢字の音読み」「漢字の訓読み」(P80～81)を読んで、音読みと訓読みについて理解する。</p> <p>0.4 (20分)</p> <p>2 「問題」①～④(P80～81)に取り組む。</p>	□漢字の音読みと訓読みについて理解している。〔1～2〕	
読む 〈読書〉	碑 P82 2時間	〔指〕C(1)カ 〔伝・国ウ(ア)〕 〔活〕C(2)ウ	・本の中から目的に合った文や語句を見つける。	<p>1</p> <p>1 「本で世界を広げよう〈戦争・平和〉」のタイトル下(P94)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「碑」全文を通読し、最も印象に残ったところをノートにまとめる。適宜、漢字を確認する。</p> <p>0.8 (40分)</p> <p>3 〔資〕P282「読書活動を楽しもう——読書カードを作ろう」を参考に、「碑」についての読書カードを作る。</p> <p>*〔資〕P268～「情報の調べ方」を読んで、情報の調べ方の参考にするのもよい。</p>	□読書カードを作るという目的に合わせて、心に残った表現を選び、感想をまとめている。〔3〕	

					0.2 (10分)	4 「読書案内」(P94~96)を読み、今後の読書生活の参考に する。 *「碑」以外に、「読書案内」などから本を選んで読書カードを 作るのもよい。
--	--	--	--	--	--------------	--

9～10月 (21時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
4 考えをまとめる	読む 〈吟味・判断〉	スズメは本当に減っているか P 98 5時間	指C(1)イ 指C(1)オ 〔伝・国イ(エ)〕 活C(2)イ	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と筆者の考えとを読み分けながら、文章の展開を捉える。 ・文章の内容や、筆者のものの見方、考え方について、感想や考えを持つ。 	1	1 タイトル下 (P98) や「てびき」 (P106) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。	<input type="checkbox"/> 事実と筆者の考えとを読み分けながら文章の展開を捉えたとともに、図表の特徴や効果を説明している。〔3〕 <input type="checkbox"/> 文章の内容を踏まえて、感想や考え、疑問点や詳しく知りたい点を挙げている。〔4〕
					3.7 (185分)	3 「読み取る」設問①～③ (P106) に取り組み、事実と筆者の考えとを読み分けながら文章の展開を捉える。また、図表の特徴や効果を説明する。 *「言葉の力 事実と筆者の考えを区別する」を読んで、事実と筆者の考えの区別について理解する。 *次の「事実と考えを区別する」(P108/基P236～)を扱う際に、関連を意識させるとよい。	
					0.3 (15分)	4 「考えを深める」設問④に取り組み、文章を読んだ感想や考え、疑問点や詳しく知りたい点を発表し合う。 5 「広がる言葉／広がる漢字」(P107)に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *資P301「言葉を広げよう——接頭語・接尾語を伴う言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	
	学びの扉 〈論理的な言葉の力／分析する力〉	事実と考えを区別する P 108 1時間	指C(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と考えを区別したり、考えの根拠に注目したりする。 	1	1 学習材 (P108) を読んで、事実・推測・意見の区別について考える。 2 基P236～「事実と考えを区別する」を読んで、事実・推測・意見の区別や、考えの根拠について理解を深める。また、「練習しよう」(P238)に組み込む。	<input type="checkbox"/> 事実・推測・意見を区別したり、考えの根拠を挙げたりしている。〔1～2〕
	書く 〈論証・説得〉	根拠を明確にして書こう——意見文 P 109 6時間	指B(1)ウ 指B(1)オ	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書く。 ・書いた文章を互いに読み合い、根拠の 	1 5	1 学習目標 (P109) を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～② (P110～111) を読んで、「老いたライオンとキツネ」の挿絵A・Bそれぞれの長所・短所を書き出し、根拠を考える練習をする。 3 手順①～④ (P110～112) を読んで、根拠を明確にした意見文の書き方を確認する。	<input type="checkbox"/> 説得力を持つような具体的な根拠を考え、根拠を明確に示して意見文を書いている。〔2の②、4の②～③〕 <input type="checkbox"/> 互いの意見文を読み合っ、根拠が明確に示されているか、根

		〔伝・国イ(エ)〕	明確さや説得力などを確かめ合う。		<p>*「言葉の力 根拠を示す／読んで確かめ合う」(P111、112)を読んで、根拠の示し方や、感想交換のポイントを確かめる。</p> <p>4 手順①～④に従って「問題」(P113)に取り組み、根拠を明確にした意見文を書く。</p> <p>5 「学習を振り返ろう」(P113)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p>	拠に説得力があるかなどを確かめ合っている。〔4の④〕
学びの扉 (実用的な言葉の力／説明する力)	順序立てて説明する P114 1時間	指A(1)イ	・情報を整理し、順序立てて分かりやすく説明する。	1	<p>1 学習材(P114)を読んで、分かりやすい説明の順序を考える。</p> <p>2 基P233～「順序立てて説明する」を読んで、説明を順序立てて分かりやすくすることについて理解を深める。また、「練習しよう」(P235)に取り組む。</p> <p>*「分類する」(基P230～)の学習内容を参照するのよい。</p>	□情報を整理し、順序立てて分かりやすい説明に直している。〔1～2〕
話す・聞く (話す)	具体例を挙げて伝えよう—— 「ことわざ」スピーチ P115 5時間	指A(1)イ 指A(1)ウ 〔伝・国イ(ア)〕 話A(2)ア	<p>・具体例を取り入れ、順序立てて話を組み立てる。</p> <p>・声の大きさや話す速さ、間の取り方などに気をつけて、聞き取りやすく効果的な話し方をする。</p>	5	<p>1 学習目標(P115)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①(P116)に取り組み、発音・発声の練習をする。</p> <p>3 手順②～⑤(P116～120)に取り組み、ことわざについてグループやクラスの友達に紹介するスピーチをする。</p> <p>*「言葉の力 順序立てて話を組み立てる／聞き取りやすく効果的な話し方をする」(P118、119)を読んで、順序立てて話を組み立てたり、聞き取りやすく効果的に話したりするためのポイントを確かめる。</p> <p>*前の「順序立てて説明する」(P114/基P233～)で学んだことを生かして取り組むとよい。</p> <p>4 「学習を振り返ろう」(P120)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p> <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>□何について話すのかを明確にし、順序立てて話を組み立てるとともに、必要に応じてラベリングやナンバリングを使っている。〔3の③～④〕</p> <p>□声の大きさや話す速さ、間の取り方などに注意して話すとともに、聞き手の様子に応じて繰り返し述べたり言い換えたりしている。〔3の④〕</p>
言葉 (文法の窓)	単語の分類—— 単語分類マシンを完成させよう P121	伝・国イ(エ)	・単語の分類の仕方について理解する。	0.3 (15分)	<p>1 学習材(P121)を読んで、単語の分類の仕方について理解する。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	□単語の分類の仕方や十種類の品詞の特徴について理解している。〔1～2〕

		2 時間		1.7 (85 分)	2 基 P256～「単語の分類」を読んで、単語の分類の仕方や、それぞれの品詞の特徴、働きについて理解を深める。また、「問題」1～2（P259）に取り組む。	
言葉 〈漢字道場〉	漢字の部首 P122 1 時間	伝・国ウ（ア） 伝・国ウ（イ）	・漢字の部首やその意味について理解する。	0.6 (30 分)	1 「部首とその意味」（P122）を読んで、部首とその意味について理解する。また、「形の変化」「紛らわしい部首」（P123）を読んで、部首の形と呼び名や、形が似ていて紛らわしい部首について理解する。	□さまざまな部首の意味や、形の変化、紛らわしい部首について理解している。〔1～2〕
				0.4 (20 分)	2 「問題」①～③（P122～123）に取り組む。	

10～11月 (16時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
	読む 〈詩(日本語のしらべ)〉	月夜の浜辺 P124 1時間	指C(1)ア 〔伝・国イ(オ)〕 活C(2)ア	・詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 3 「詩人と作品」(P126)を読み、中原中也について知る。	□詩から読み取れる情景や心情に注意し、リズムを感じ取りながら朗読している。〔2〕
5 伝 統 文 化 に 触 れ る	古典	古典の世界 P128 1時間	伝・国ア(イ) 指C(1)オ	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知り、興味や関心を持つ。	1	1 タイトル下(P128)を見て、学習目標を確認する。 2 「古典の世界」の本文(P128～131)を読み、古典の世界に興味・関心を持つ。 3 「中学校三年間で学ぶ古典作品」(P133)を見て、古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。 *資P286～289に紹介されている古典作品に触れるのもよい。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	□古典の世界に興味・関心を持つとともに、古典作品には物語、随筆、和歌、漢文など、さまざまな種類のものがあることを理解している。〔2～3〕
		伊曾保物語 P134 3時間	伝・国ア(ア) 指C(1)エ	・歴史的仮名遣いに注意して音読し、古文の読み方に慣れる。 ・文章の構成などの特徴について考える。	3	1 タイトル下(P134)や「てびき」(P138)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「伊曾保物語」の解説(P134～135)を読み、作品の成り立ちや概要を知る。 3 「鳩と蟻のこと」(P136～137)を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「読み取る」設問①～②(P138)に取り組み、音読を通して古文の読み方に慣れ、古文の内容を正確に読み取る。 *古典コラム「古典の仮名遣い」を適宜参照し、歴史的仮名遣いについて確認する。 5 「考えを深める」設問③に取り組み、作品の特徴について考える。 *Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意され	□歴史的仮名遣いに注意して音読し、古文のリズムに親しむとともに、内容を捉えている。〔4〕 □題名、構成、内容などに着目し、二つの話に共通する特徴を挙げている。〔5〕

<p>竹取物語 P 139 4 時間</p>	<p>伝・国ア (ア) 指C(1)オ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語とは異なる言葉や表現に注意して音読し、古典の世界に触れる。 ・古典の作品に描かれた人間の心のありようについて考える。 	<p>4</p>	<p>ているので、適宜利用するとよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タイトル下 (P139) や「てびき」(P147) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 「竹取物語」の解説 (P139) を読み、作品の成り立ちや概要を知る。 3 冒頭 (P140) を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「読み取る」設問① (P147) に取り組み、音読・暗唱を通して古文を読み味わう。 <p>*古典コラム「古典の言葉とその意味」を適宜参照し、現代語と異なる古語の意味を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 かぐや姫の昇天まで (P141～146) を読み、内容を大まかにつかむ。 6 「読み取る」設問①～②に取り組み、音読を通して古文を読み味わい、文章の展開に即して登場人物の心情を読み取る。 7 「考えを深める」設問③に取り組み、作品に描かれた人間の心のありようについて話し合う。 <p>*Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>□歴史的仮名遣いや古典の言葉の意味に注意して音読し、古文を読み味わっている。〔4、6〕</p> <p>□かぐや姫の言葉に込められた思いを捉えるとともに、現代でも変わっていない人間の心のありようについて気づいたことを挙げている。〔6～7〕</p>
<p>矛盾 P 148 3 時間</p>	<p>伝・国ア (ア) 指B(1)ア [指C(1)ア]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読に必要な決まりを知り、漢文特有のリズムを味わう。 ・故事成語について調べ、体験や出来事を文章にまとめる。 	<p>3</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 タイトル下 (P148) や「てびき」(P150) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 故事成語の解説 (P148) を読み、故事成語とは何かを知る。 <p>*古典コラム「故事成語の例」(P150) の内容にも触れ、取り上げられている語の意味と由来を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 「矛盾」の書き下し文 (P148～149) を読み、内容を大まかにつかむ。 4 「読み取る」設問①～② (P150) に取り組み、音読を通して漢文のリズムに慣れ、「矛盾」の故事の内容を正確に読み取る。 5 「考えを深める」設問③に取り組み、漢文を日本語として読むための工夫について知る。 	<p>□音読して漢文特有のリズムに親しむとともに、返り点など、訓読に必要な決まりを理解している。〔4～5〕</p> <p>□他の故事成語の由来や意味を調べ、それに当てはまる体験や出来事を文章にまとめている。〔6〕</p>

					<p>* 古典コラム「漢文の読み方」(P151)を適宜参照し、訓読に必要な決まりを確認する。</p> <p>6 「書く」設問④に取り組み、他の故事成語の意味や由来を調べ、それに当てはまる体験や出来事を文章にまとめる。</p> <p>* Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
書く (通信・手紙)	案内や報告の文章を書こう P152 3時間	指 B(1)イ 〔 伝・国 ウ(イ)] 活 B(2)ウ	・必要な情報を選び出し、分かりやすい構成でまとめる。	1 2	<p>1 学習目標(P152)を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①(P152)に取り組み、合唱祭の案内状を書く。</p> <p>3 手順②(P153)に取り組み、合唱祭の結果報告の記事を書く。</p> <p>* 「言葉の力 掲載する情報を選択する」(P153)を読んで、情報を選択する際のポイントを確かめる。</p>	<input type="checkbox"/> メモから必要な情報を選び出し、案内状や記事という形式に応じて分かりやすい構成でまとめている。[2～3]
言葉 (文法の窓)	名詞——「名前」はいろいろ P154 1時間	伝・国 イ(エ)	・名詞の種類について理解する。	0.2 (10分) 0.8 (40分)	<p>1 学習材(P154)を読んで、名詞を五種類に分類する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>* Dこの学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p> <p>2 基P260～「名詞」を読んで、五種類の名詞や、名詞の成り立ちについて理解を深める。また、「練習問題」1～2(P261)に取り組む。</p>	<input type="checkbox"/> 五種類の名詞や、名詞の成り立ちについて理解している。[1～2]

11～12月 (10時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
6 作品を読み解く	読む 〈文学二〉	少年の日の思い出 P156 6時間	指C(1)ウ 指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕	<ul style="list-style-type: none"> 場面の展開を捉え、人物や情景を描いた表現に着目して、作品を読み深める。 作品の構成の工夫について、自分の考えを持つ。 	1	1 タイトル下 (P156) や「てびき」(P169) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。	<input type="checkbox"/> それぞれの場面での人物や情景の描写に着目し、主人公の思いを捉えている。〔3〕 <input type="checkbox"/> 小説の前半部分から後半部分への伏線になっている表現を見つけ、構成の工夫について気づいたことを挙げている。〔4〕
					3.7 (185分)	3 「読み取る」設問①～④ (P169) に取り組み、場面の展開を捉え、人物や情景を描いた表現に着目して作品を読み深める。	
					1 0.3 (15分)	4 「考えを深める」設問⑤に取り組み、伏線を探し、この小説の構成の工夫について話し合う。 *「言葉の力 伏線に着目する」を読んで、伏線について理解する。 *次の「文脈を捉え、伏線に気づく」(P171/基P242～)を扱う際に、関連を意識させるとよい。 5 「広がる言葉/広がる漢字」(P170) に取り組み、語彙を増やし、漢字を確認する。 *資P301～「言葉を広げよう——心情を表す言葉」を見て、語彙を増やすための参考にするとよい。	
	学びの扉 〈創造的な言葉の力/解釈する力〉	文脈を捉え、伏線に気づく P171 1時間	指C(1)ウ	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物などの描写や場面の展開に注意して、文脈を捉え、伏線に気づく。 	1	1 学習材 (P171) を読んで、後の展開の伏線となりそうな表現を探す。 2 基P242～「文脈を捉え、伏線に気づく」を読んで、文脈や伏線について理解を深める。また、「練習しよう」(P244) に取り組む。	<input type="checkbox"/> 文章中の文脈を捉え、伏線となる表現に気づいている。〔1～2〕
	言葉 〈日本語探検〉	語の意味と文脈・多義語 P172 1時間	〔伝・国イ(イ)〕 〔伝・国イ(ウ)〕	<ul style="list-style-type: none"> 語のさまざまな意味や、文脈の働き、多義語について理解する。 	1	1 学習材 (P172～173) を読んで、語のさまざまな意味と、文脈の働きについて理解する。また、多義語についても理解する。適宜、漢字を確認する。 2 「問題」(P173) に取り組む。	<input type="checkbox"/> 語のさまざまな意味や、文脈の働き、多義語について理解している。〔1～2〕
	読む 〈読書〉	集まって読む P174	指C(1)カ	<ul style="list-style-type: none"> 目的に合った本を探し、必要な情報を 	1	1 「本で世界を広げよう〈暮らし・文化〉」のタイトル下 (P182) を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。	<input type="checkbox"/> 作品を紹介するために、必要な情報を読み取ってまとめている

	2 時間		<p>〔伝・国ウ(ア)〕 ⑧ C(2)ウ</p>	読み取ってまとめる。		2 「集まって住む」全文を通読し、集まって住むということについて、文章の内容を踏まえてノートにまとめる。適宜、漢字を確認する。	る。〔3〕
0.8 (40分)	3 ⑩ P283「読書活動を楽しもう——本紹介のポスターを作ろう」を参考に、「集まって住む」について紹介するポスターの文面を考える。						
0.2 (10分)	4 「読書案内」(P182~184)を読み、今後の読書生活の参考にする。 *「集まって住む」以外に、「読書案内」も参考にしてグループでテーマを決め、本を一人一冊ずつ選んで実際にポスターを作るのもよい。						

1～3月 (26時間)							
	領域 〈系統〉	学習材名・ページ数・配当時間	学習指導要領との対応	学習目標	配分	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 〔 〕は学習活動例との対応
7 表現を考える	読む 〈言葉とメディア〉	ニュースの見方を考えよう P186 3時間	指C(1)オ 〔伝・国イ(イ)〕	・情報への接し方と情報の用い方を身につける。	1	1 「てびき」(P191)を見て、学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。	□情報への接し方や情報の用い方について、分かったことや考えたことを挙げている。〔3～5〕
					2	3 「読み取る」設問①～②(P191)に取り組み、文章の内容を読み取る。 4 「考えを深める」設問③(P191～192)に取り組み、実際にニュースを編集してみる。そのうえで、ニュースの見方について考える。 5 「考えを深める」設問④(P193)に取り組み、インターネット上の二つの情報を比較し、印象の違いを考える。 *「言葉の力 情報を見極める」(P193)を読んで、情報を見極めるためのポイントを理解する。	
	書く 〈情報発信〉	学校新聞の記事を書こう P194 3時間	指B(1)ウ 〔伝・国ウ(イ)〕 活B(2)イ	・図表を用いて情報を効果的に伝える。	1	1 学習目標(P194)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P194～195)に取り組み、アンケートを分析したり、図表の示し方による違いを考えたりする。 *「言葉の力 図表を用いて情報を伝える」(P195)を読んで、図表を用いて情報を伝える際のポイントを確認する。	□ねらいに沿って、図表を用いて情報を効果的に伝える記事を書いている。〔2の②、3〕
				1	3 手順③(P196)に取り組み、図表を用いて情報を効果的に伝える学校新聞の記事を書く。		
				1	4 手順④(P196)に取り組み、記事を発表し合ったうえで、情報を受け取る際の注意点について話し合う。		
	話す・聞く 〈話し合う〉	話し合いで理解を深めよう——グループディスカッション P197 6時間	指A(1)ア 指A(1)オ	・お互いの体験や考えを出し合って整理する。 ・相手の発言をしっかりと聞き、話の方向を捉えて自分の	6	1 学習目標(P197)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①(P198)に取り組み、話を受け止めて返す練習をする。 3 手順②～④(P199～202)に取り組み、身近な言葉について話し合い、自分たちとしての定義をする。 *「言葉の力 体験や考えを出し合う／相手の考えを受けて話	□話しやすい雰囲気を作って体験や考えを出し合い、共通点を見つけて整理している。〔3の②～③〕 □相手の話をしっかりと受け止めて返すとともに、話の方向を捉

		<p>〔伝・国イ(イ)〕 (活) A(2)イ</p>	<p>考えを話す。</p>		<p>す」(P199、200)を読んで、体験や考えを出し合ったり、相手の考えを受けて話したりするためのポイントを確認する。 *〔資〕P292「発想・整理の方法」を読んで、発想を広げたり整理したりするための参考にするのもよい。 4 「学習を振り返ろう」(P202)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p>	<p>えて自分の考えを話している。 [2、3の③]</p>
<p>書く (感性・創造)</p>	<p>作品のよさを表現しよう——歌の鑑賞文 P203 6時間</p>	<p>指B(1)ア</p>	<p>・作品のよさを伝えるという目的に沿って、鑑賞文を書くための材料を集め、自分の考えをまとめる。 ・作品中の表現を根拠にして、感じたことや考えたことがよく伝わるように鑑賞文を書く。</p>	2	<p>1 学習目標(P203)を確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①～②(P204～206)に取り組み、好きな歌を選んで鑑賞し、伝えたい内容を整理する。 *「言葉の力 作品を鑑賞し、考えをまとめる」(P204)を読んで、作品を鑑賞して考えをまとめるためのポイントを確認する。</p>	<p>□作品の中で印象に残った部分から読み取ったことや感じたことを書き出し、作品の全体から感じたことと部分から感じたこととのつながりを考えるなどして、鑑賞を深めている。[2の①] □作品中の表現を根拠にして、感じたことや考えたことがよく伝わるように、言葉を選んで鑑賞文を書いている。[3]</p>
		<p>指B(1)ウ</p>		2	<p>3 手順③(P206～207)に取り組み、鑑賞文を書き、キャッチコピーを作る。 *「言葉の力 感じたことや考えたことを表現する」(P207)を読んで、感じたことや考えたことを表現するためのポイントを確認する。 *〔資〕P299～「言葉を広げよう」を見て、伝えたいことに合った言葉を探すための参考にするのもよい。</p>	
		<p>〔伝・国イ(イ)〕 (活) B(2)ア</p>		2	<p>4 手順④～⑤(P207～208)に取り組み、鑑賞文を読み合っ て意見を交換したうえで、CDジャケットを清書する。 5 「学習を振り返ろう」(P208)を読み、学習を振り返って自己評価をする。</p>	
<p>言葉 (文法の窓)</p>	<p>連体詞・副詞・接続詞・感動詞——「桃太郎」を修復せよ P209 1時間</p>	<p>〔伝・国イ(エ)〕</p>	<p>・連体詞・副詞・接続詞・感動詞の種類や働きについて理解する。</p>	<p>0.2 (10分)</p>	<p>1 学習材(P209)を読んで、ルールに従って、空欄に入る言葉を考える。また、「考えよう」に取り組む。 *〔D〕この学習材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>□連体詞・副詞・接続詞・感動詞の種類や働きについて理解している。[1～2]</p>
<p>0.8 (40分)</p>	<p>2 〔基〕P262～「連体詞・副詞・接続詞・感動詞」を読んで、連体詞・副詞・接続詞・感動詞の種類や働きについて理解を深める。また、「問題」1～3(P264)に取り組む。</p>					

言葉 (漢字道場)	漢字の成り立ち P210 1時間	伝・国ウ(ア) 伝・国ウ(イ)	・漢字の成り立ちについて理解する。	0.6 (30分) 0.4 (20分)	1 学習材(P210～211)を読んで、漢字の成り立ちや使い方による六通りの分類について理解する。 2 「問題」①～⑥(P210～211)に取り組む。	□漢字の成り立ちや使い方による六通りの分類について理解している。〔1～2〕
読む (詩(詩の言葉))	名づけられた葉 P212 2時間	指C(1)ア 指C(1)オ 〔伝・国イ(オ)〕	・詩の中で使われている言葉の意味を的確に捉える。 ・詩に表れているものの見方を捉え、自分の考え方を広げる。	0.3 (15分) 1.7 (85分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 「名づけられた葉」という題名や、詩の中で比喩的に使われている言葉の意味を捉える。 3 この詩に表れているものの見方について、気づいたことを話し合う。	□題名や、比喩的に使われている言葉の意味を捉えている。〔2〕 □この詩に表れているものの見方を捉え、気づいたことを挙げている。〔3〕
読む (読書)	トロッコ P214 4時間	指C(1)エ 〔伝・国イ(イ)〕	・文学作品を読み、情景描写などの表現の効果について考える。	1 2 0.6 (30分) 0.4 (20分)	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 2 さまざまな情景の描写がどのような効果をあげているか、話し合う。 3 話し合いを踏まえて、感想や考えを述べ合う。 4 「作家と作品」(P222)を読み、芥川龍之介について知る。 5 「読書案内」(P223～225)を読み、今後の読書生活の参考にする。 *〔資〕P282～「読書活動を楽しもう」に示された読書活動に取り組むのもよい。	□情景や人物のさまざまな描写の表現効果について、気づいたことを挙げている。〔2～3〕
*移行措置 言葉 (日本語探検)	方言と共通語 2年P28 1時間	伝・国2年イ(ア)	・方言と共通語の役割について理解する。	1	1 学習材(2年P28～29)を読んで、方言と共通語の役割について理解する。適宜、漢字を確認する。 2 「問題」①～②(2年P29)に取り組む。 *2年の教科書を使用して行う。(東京書籍のウェブページにも、2年の当該教材の紙面PDFを用意している。)	□方言と共通語の違いや、それぞれの役割について理解している。〔1～2〕
言葉 (漢字道場)	都道府県名で用いられる漢字	伝・国ウ(ア) 伝・国ウ(イ)	・都道府県名で用いられる漢字を読んだり書いたりする。	0.3 (15分)	1 都道府県名で用いられる次の漢字を、読んだり書いたりする。 茨、媛、岡、渦、岐、熊、香、佐、埼、崎、滋、鹿、縄、	□都道府県名で用いられる漢字を読んだり書いたりしている。〔1〕

					井、沖、栃、奈、梨、阪、阜 *東京書籍のウェブページに、都道府県名で用いられる漢字の 読み書きができる練習用紙を用意している。	
--	--	--	--	--	---	--